

# ソフト・ハード連携した取組概要

横浜市では、令和5年度から、交通事故データやETC2.0で収集した車両速度などのビッグデータを活用し、ソフト・ハード両面で子どもの通学路交通安全対策事業に取り組んでいます。

## ■ソフト対策

・子ども・交通事故データマップの公開  
(令和5年3月)



・教育現場  
・スクールゾーン対策協議会  
・見守り活動(はたふり)  
・交通安全教室  
など、交通安全活動で活用

▼マップはこちら



・市立全小学校(339校)通学区域内での取組



スクールゾーン対策協議会



見守り活動(はたふり)



交通安全教室

・交通安全推進校通学区域内での取組



放課後キッズクラブ



幼児交通安全教育訪問指導

交通安全教育を  
重点的に実施

## ■ハード対策

・交通安全対策の立案(令和5年6月)

・交通安全推進校通学区域内での取組

ビッグデータを活用した  
潜在的な交通危険箇所の  
「見える化」による交通安全対策



データの重ね合わせのイメージ



区画線  
(減速ドットマーク)



グリーンベルト



交差点カラー化



狭さく



スムーズ横断歩道



ハンプ

## 令和5年度の取組内容

令和5年度は、児童を対象とした交通安全教育、地域や保護者と連携した見守り活動などの交通安全対策を重点的に実施する交通安全推進校に、立野小学校(中区)、永野小学校(港南区)、都田西小学校(都筑区)、原小学校(瀬谷区)の4校を選定し、教育委員会事務局と連携しながら、ソフト・ハード両面で交通安全対策を実施しました。

### ソフト対策



放課後キッズクラブ



幼児への交通安全教室

道路局の取組



総合的な学習の時間



道路局による出前授業

教育委員会事務局と連携した取組

### ハード対策

ハード対策として、4地区合計で約100箇所の交通安全対策を実施しました。そのうち、交通安全推進校では、ハンプやスムーズ横断歩道といった物理的デバイスを7箇所に設置しました。



スムーズ横断歩道



スムーズ横断歩道

中区 立野小学校通学区域



路面標示

港南区 永野小学校通学区域



ハンプ



スムーズ横断歩道

都筑区 都田西小学校通学区域



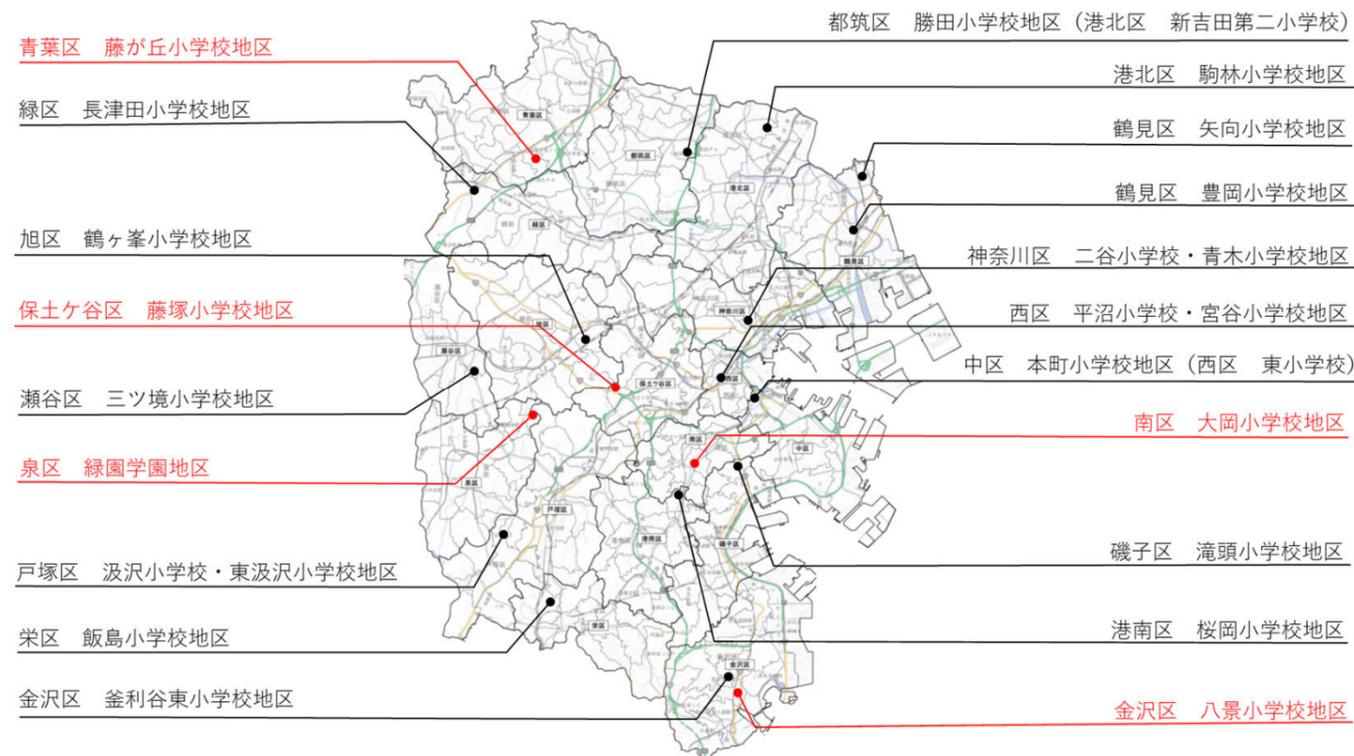
ハンプ

瀬谷区 原小学校通学区域

## 令和6年度の取組内容

令和6年度は、交通安全推進校として、大岡小学校(南区)、藤塚小学校(保土ヶ谷区)、八景小学校(金沢区)、藤が丘小学校(青葉区)、緑園学園(泉区)の5校を選定しました。スクールゾーン対策協議会などで対策内容を説明しながら、ソフト・ハードの両面で交通安全対策を実施していきます。

その他にもデータを活用した交通安全対策を15地区で実施し、交通安全推進校と合わせて市内20地区で「子どもの通学路交通安全対策事業」を進めていきます。



※交通安全推進校…児童を対象とした交通安全教育、地域や保護者と連携した見守り活動などの交通安全対策を重点的に実施する小学校・義務教育学校(教育委員会で公募)